

# 吉澤野球博物館 寄贈記念 野球史料展



～明治から平成まで、野球の歴史が一堂に～

日時：平成 28 (2016) 年

5月4日(水・祝)～5月8日(日)

午前10時～午後7時(最終日は午後4時まで)

※ 各日同会場にてギャラリートークを開催予定

場所：市民ギャラリー

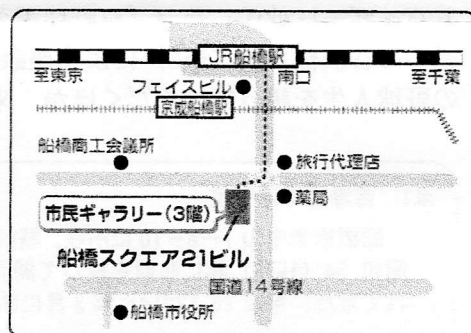
(船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階)

電話 047-420-2111)

入場：無料

問合せ：船橋市教育委員会文化課 電話 047-436-2894

## 【野球史料展会場】



## 【主な史料】

時代	資料
明治時代	・ 文士たちで結成した天狗倶楽部のユニフォーム
大正時代	・ 早稲田大学で“和製ベブルース”と呼ばれていた田中勝雄選手のバット
大正～昭和初期	・ 東京六大学野球のバット、ユニフォーム ・ 東京六大学野球の入場券
昭和初期	・ 早大米国遠征のビジター用ユニフォーム ・ 巨人軍で活躍した澤村栄治投手のパスポート
昭和中期	・ 戦地に赴く選手に対して贈られた寄せ書き入りの日章旗
昭和の後期	・ 読売ジャイアンツ元監督 水原茂氏のトロフィー、盾、ペナント
平成	・ イチロー選手のバット、松井秀喜選手のスパイク

## 同時開催！！ ～元プロ野球選手による座談会～

日時：平成 28 (2016) 年 5月7日(土) 午後2時～午後3時30分

場所：中央公民館6階講堂(船橋市本町2-2-5 電話 047-434-5551)

内容：第1部『私の野球人生』(予定)

第2部『来場者からの質問コーナー』

講師：江藤省三氏(市スポーツ総合展示企画等アドバイザー元読売ジャイアンツ・中日ドラゴンズ選手)

谷沢健一氏(プロ野球解説者 元中日ドラゴンズ選手)

定員：先着150人

申込み：4月1日(金) 午前9時より電話で文化課(047-436-2894)へ

# 明治からの野球史料700点以上が一堂に

～吉澤野球博物館の寄贈を記念し、野球史料展を開催～

貴重な東京六大学野球史料を有する吉澤野球博物館（※1）の解散に伴い、所有する野球史料や美術品等の財産が平成27（2015）年11月20日（金）、船橋市に寄附されました。

これを記念して、平成28（2016）年5月4日（水・祝）から5月8日（日）で、船橋市民ギャラリーにおいて、寄附された史料を中心に吉澤野球博物館寄贈記念野球史料展を開催します。

この史料展では、日本の野球文化の原点ともいえるべき、明治から昭和初期にかけての東京六大学野球で活躍した選手の写真、バットやユニフォーム、サインボール等、700点を超す貴重な史料が並べられ、野球黎明期の息吹を感じることができます。

プロ野球の史料では、イチロー選手のバットや松井秀喜選手のスパイクのほか、読売ジャイアンツ元監督、水原茂氏のご家族から寄託を受けているセントラルリーグ優勝記念トロフィーや日本シリーズ勝利監督賞の盾など、栄光の軌跡の数々が飾られます。

また、期間中5月7日（土）に中央公民館6階講堂において、本市のスポーツ総合展示企画等アドバイザーに就任した元プロ野球選手の江藤省三氏（※2）と、2度の首位打者に輝いた元プロ野球選手の谷沢健一氏（※3）による座談会を開催。東京六大学野球からプロ野球にいたるまで、お二人の野球人生を語っていただくほか、来場者の皆様からの質問にお答えしていただきます。

## ※1 吉澤野球博物館

船橋市本中山1-6-10に所在。戦前の東京六大学野球に関する史料等の収集や保存を目的に、吉澤善吉氏が昭和54（1979）年に私財を投じて開館。「一般財団法人吉澤野球博物館」が運営。多くの野球ファンに親しまれてきた。平成26（2014）年3月に閉館。

## ※2 江藤省三氏

慶應義塾大学野球部に所属し、東京六大学リーグで3回優勝。昭和40（1965）年に読売ジャイアンツに入団、昭和44（1969）年に中日ドラゴンズに移籍。昭和51（1976）年の引退後は、プロ球団でコーチを歴任し、平成21（2009）年から慶應義塾大学野球部監督として3回リーグ優勝を飾った。船橋市野球協会少年学童部理事長の河崎六郎氏と小学校（熊本県）時代の友人である縁をきっかけに、船橋市では平成21（2009）年から「江藤省三杯」と銘打ち、少年学童野球大会が毎年開催されている。平成27（2015）年から、船橋市スポーツ総合展示企画等アドバイザー就任。

## ※3 谷沢健一氏

習志野市立習志野高等学校出身。早稲田大学野球部に所属し、東京六大学野球で活躍後、昭和44（1969）年、中日ドラゴンズにドラフト1位入団、新人王を獲得。昭和49（1974）年、首位打者を獲得し、リーグ優勝に大きく貢献した。昭和55（1980）年、大学時代からの持病であるアキレス腱痛を克服し、2度目の首位打者、カムバック賞を受賞。昭和60（1985）年には通算2000本安打を達成した。現在は、野球解説を務める傍ら、NPO法人「谷沢野球コミュニティ千葉」を立ち上げ、プロとアマチュアの距離を縮め、野球人口の裾野を広げる活動に尽力している。

## 【座談会会場】

中央公民館6階講堂

（船橋市本町2-2-5 電話047-434-5551）

※野球史料展とは会場が異なりますので

ご注意ください

